



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年9月19日（火） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化財保護センター	調査第二係	近藤・柴山	電話 058-237-8550 FAX 058-237-8551

県内の埋蔵文化財に関する

「令和5年度岐阜県発掘調査報告会」

を開催します

県文化財保護センターでは、県民の皆様にも、埋蔵文化財への理解と「ふるさと岐阜」の歴史・文化への興味・関心を深めていただくことを目的に、毎年発掘調査報告会を開催しています。




今年度の報告会は、岐阜県の歴史を語る上で注目すべき発見となった3件の発掘調査成果の報告と、遺跡から出土した遺物の展示を行います。多くの方のご参加をお待ちしています。

- 1 日 時 令和5年10月21日（土） 13:15～15:45
(受付12:45～)
- 2 場 所 岐阜県図書館1階 多目的ホール
(岐阜市宇佐4-2-1 TEL 058-275-5111)
- 3 内 容 近年の県内における発掘調査の事例報告と出土遺物の展示
 <事例報告（詳細は裏面のとおり）>
 ・上切寺尾古墳群（高山市）
 ・県史跡 松倉城跡（高山市）
 ・湯ヶ峰山頂遺跡（下呂市）
- 4 定 員 300名程度（当日受付・先着順）
- 5 参 加 費 無料



昨年度の遺物展示の様子

6 事例発表の概要

遺跡名（所在地）	報告の概要	報告者
<p>事例発表Ⅰ 上切寺尾古墳群（高山市） 写真：県文化財保護センター</p> 	<p>平成27・28年度に実施した発掘調査では、弥生時代後期から古墳時代初頭に造られた51基の墳墓を確認することができました。墳墓は埋葬部の周囲に方形や不定形の溝が掘られ、溝を掘削した排土などを盛って墳丘が構築されました。このように墳丘盛土が残存する墳墓群は岐阜県内では少なく、貴重な事例として注目されます。</p>	<p>県文化財保護センター 調査課</p> <p>みしま まこと 三島 誠</p>
<p>事例発表Ⅱ 県史跡 松倉城跡（高山市）</p>  <p>写真：高山市教育委員会</p>	<p>松倉城は、標高856.7mの松倉山につくられた戦国時代の山城です。高山盆地が一望できる場所にあり、飛騨を統治する上で重要な拠点であったと考えられています。令和元年度から実施した発掘調査により、二ノ丸では2時期とみられる建物の礎石や、三ノ丸では巨石を用いた埋門^{うづみもん}など、城郭の構造を明らかにする新たな発見がありました。</p>	<p>高山市教育委員会事務局 文化財課</p> <p>おしい まさゆき 押井 正行</p>
<p>事例発表Ⅲ 湯ヶ峰山頂遺跡（下呂市）</p>  <p>写真：南山大学上峯篤史氏</p>	<p>下呂温泉の背後にそびえる湯ヶ峰^{ゆがみね}では、火山活動にともなって下呂石とよばれるガラス質の岩石が産出しています。下呂石は約38,000年前から石器の材料に使われていて、湯ヶ峰には下呂石を採りに来た人々の痕跡が多数のこされています。今回は、湯ヶ峰で新たに発見した遺跡、令和4年度に発掘調査した遺跡からわかってきたことをご紹介します。</p>	<p>南山大学 人文学部人類文化学科</p> <p>准教授 うえみね あつし 上峯 篤史</p>